

女性防火クラブだより

発行所：岐阜市女性防火クラブ 運営協議会事務局
〒500-8812 岐阜市東江寺町
2-9 岐阜市消防本部予防課内
☎058-262-7163
令和5年11月1日号
(通算第48号)



秋の
火災予防運動

秋の火災予防運動

11月9日から11月15日

全国統一防火標語

火を消して 不安を消して つなぐ未来



2023年度全国統一防火標語

火を消して不安を消して つなぐ未来

日本防火協会
「火災予防のシンボル」の「自由体」標語への
経済的効果の検証」を通じて、火災の発生・
拡大を防止することを目指す。

一般社団法人 日本損害保険協会

大規模地震による広域火災にも、日常からしっかりと備えましょう。

十一月九日から十一月十五日までの間、全国一斉に秋の火災予防運動が行われます。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図るなどを目的に、毎年実施されるものです。今年度の統一防火標語は『火を消して 不安を消して つなぐ未来』です。

岐阜市消防本部では、岐阜市消防協会、岐阜市危険物安全協会及び岐阜市防火協会の協力を得て、火災予防啓発ポスターを約四千枚作成し、市内の関係機関、主要事業所などに配布して火災予防を呼びかけています。この機会に是非、あなたの家庭でも火災予防について考えてみましょう。

今年の火災概況

一月一日から六月三十日までの上半期、岐阜市内で発生した火災は六十五件で、前年の同時期と比較すると十五件増加となっています。

出火原因は、「電気関係」が最も多く十四件、続いて「たき火」が十二件、「放火・放火の疑い」が九件でした。

火災による死者は、発生しておらず、前年の同時期と比較すると四人減少、負傷者は十二人で、九人減少となりました。

火災件数の内訳は、建物火災が最も多く、三十七件発生しています。

火災による損害額は約一億五千九百二十万円で、一日当たり約八十八万円の財産が焼失したことになります。

火災を無くして安全・安心な街をつくりましょう。

住宅防火のポイントを

みなさまのご家庭において、住宅防火のいのちを守る十のポイント（四つの習慣・六つの対策）を確認し、実践しましょう。

四つの習慣
○寝たばこは絶対にしない、させない。
○ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
○こんろを使うときは火のそばを離れない。

○コンセントは、ほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。
六つの対策

○火災の発生を防ぐために、ストップやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。

○火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的な点検し、十年を目安に交換する。

○火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する。

○火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置し、使い方を確認しておく。

○お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。

○防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

各地区の女性防火クラブから

「本郷女性防火クラブの活動」

本郷女性防火クラブ

会長 木村 ひづる

本郷地域の特色は、清流長良川と町の中心には美しいケヤキ並木通りがある地域です。

本郷女性防火クラブは、昭和五十年に結成されました。本郷自治会連合会に所属する「本郷女性防火クラブ」として、各町内から一名ずつ参加、総勢六十七名で活動をしています。

主な活動内容は

一、防災研究会に参加

二、AEDの取扱い方法の講習・訓練の実施

三、風水害・地震災害時における

アルファ米を使用した炊き出し訓練の実施

様々な訓練を防災講師の方から指導を受け、地域のケヤキ並木通りで開催されるイベント等で実際に実施訓練を行ってきました。

昨今、自助（自分の身を自分で守る）・共助（周りの住民で助け合う）の在り方が話題になってきております。

私たち、女性防火クラブとしても、クラブ単独の活動ではな

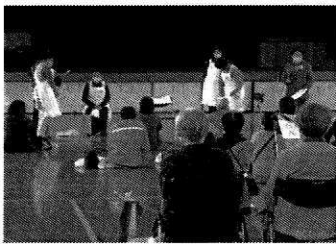
く、各種団体との連携が必要であると感じております。

そこで、秋の研修会では、日赤奉仕団による三角巾を用いた応急手当講習を受け、社会福祉協会から避難所での詳しい活動内容についてのお話を聞きました。

その後、九月に明郷小学校高学年の子どもたちと自治会の避難所開設担当の方を講師に避難所用テントの組み立て方法について学びました。

子どもたちと参加し、実際に組み立てることで、お互いに理解が深まると感じました。また、子どもたちがご家庭で訓練について話題にすることによって、より一層防災について家族で関心を持つていただければと思います。

災害時だけでなく、日頃より親子ども、自治会、各種団体と共に「協同できる地域」を目指し活動を進めていきたいと考えています。



応急手当講習の様子

「三輪南女性防火クラブの活動」

三輪南女性防火クラブ

会長 後藤 淳子

三輪南女性防火クラブは、昭和五十年に結成されました。自治会の班からクラブ員を選出し、本部役員五名（任期二年）、クラブ員五十一名（任期一年）総勢五十六名で岐阜市の北部、市境の地域で活動をしています。

三輪南地域には、田畑や山林に住宅が隣接している箇所があります。林野火災が発生した際や土砂崩れの危険がある場合には、円滑な避難行動が求められ、また、長良川本流も近くにあり、水による災害の危険もある地域です。

万が一の時に備えて、普段から自治会と協力しながら連絡を密にとれる体制を整えています。

昨年は、六月に避難訓練と救急救命講習会を開催いたしました。また、九月には、地域の防災訓練に参加しました。コロナ禍でしたが、感染対策に万全を期し、最少数の役員で規模を縮小して実施しました。

本年度は、新型コロナウイルスも五類に移行したことから様々な規制が緩和され、活動がしやすくなりました。

六月には、クラブ員を対象にA

E D取扱い訓練、胸骨圧迫訓練、水消火器を用いた初期消火訓練を実施しました。

今後の予定としまして、アルファ米の炊き出し及び配布訓練、三角巾を用いた応急処置の訓練等コロナ禍で実施できなかった訓練を今年度は、開催する予定をしております。

災害は、いつ起こるかわかりません。日頃から備えをしておく必要があります。様々な訓練を開催し、一人でも多くの方々に参加をいただいで、有事の際の対策法、対処法などの情報を共有してもらえらるるようクラブ員共々、日々頑張りたいと思っております。



初期消火訓練の様子